

4.
筑城累

S 1.1.1.0-15

740

40

REEL No. A-0036

アジア歴史資料センター

高親友編者

第一編

昭和三年六月五日 接受

高親友第五三號

昭和三年五月三十日

茨城縣知事森岡二郎

内務大臣 望月 圭介殿
 外務大臣 田中 義一殿
 陸軍大臣 白川 義則殿
 海軍大臣 岡田 啓介殿
 文部大臣 勝田 主計殿
 各廳府縣 長官殿
 水戸地方裁判所 檢事 正殿
 宇都宮憲兵隊長殿
 支那支隊對支總文郵送件

6112312

中國の民党中央党務學校全休學生
 右名義ヲ以テ本ノ字日管下水戸高等學校學生宛五
 兵問題ニ関シ中國の民党中央党務學校全休學生告
 白本全國青年書ト題シ早ク貴國政府ヲ督促シテ駐
 濟軍隊ノ暴行ヲ制止スルニ其他ノ謄寫摺別紙印
 刷物ヲ尚

天連市監部通 三三 滿洲郷土協會
 名義ヲ以テ左學生揭示孫宛「母國の青年諸君」ト題
 シ濟南事件ノ支那兵凌辱慘教ニ對シ對支政策ヲ激
 勵的ノ文書ヲ印刷シタル別紙摺文ヲ孰シテ郵送越シ
 事實アルヲ以テ學校當局府内査スニ學校トシテ學生
 間ニ秘密ニテ發表セシ其紙放置シテ模樣ニ有之候條
 此段及申(通)報候也

S 1.1.1.0-15

742

S 1.1.1.0-15

741

41

REEL No. A-0036

アジア歴史資料センター

別紙寫

中國の民党中央党勢學校全体

學生告白日本全國青年書

日本全國青年諸君ヨ

白人ノ勢力カ東洋ニ来テカラ亞細亞ノ民族カ曰ク危亡ニ瀕
シ敵國モ滿清政府ノ闇弱ナル為ニ師ヲ喪シ地ヲ失ヒ今日至
リ益々不平條約ノ束縛ヲ受ケ殆ク魔中ノ世變ノ知リ引強
宰割ニ任セリ此時當リテ貴國ハ蹶然トシテ起テテ東方民族
為レ一線ノ曙光ヲ放シ今日亞細亞民族中歐洲列強ト抗衡
シ得レモノハ唯ク貴國ノ一若シ貴國ノ士カ東方民族ノ大同博
愛ノ精神ニ基テ親善ト鄰實ヲ擧ケテ亞細亞被壓迫民族
ノ屏藩トナレバ故國ノ幸ナルモテテ又東洋諸民族ノ幸ナリ
然レトモ貴國賢士大夫之ヲ付テ又我東方民族ノ和平ノ思想

B 1.1.1.0-15

743

42

ヲ棄テ、亞國帝國主義ノ後塵ニ歩、歐洲大戰ノ時實ニ
我東洋民族自由等ヲ恢復ス良機ナリシモ貴國政府ハ之ヲ
援助セザルノミナラス之ヲ擯殘シ我國族ヲ利用シテ不平條
約ノ苛約ヲ結ビ竟ニ五月九日ヲ國辱日トナセリ

此ノ年以來我中華民國カ蹶起シ覺悟ヲナセリ而シテ孫總
理中山先生ノ統率セシ國民黨ノ下ニ國民革命ノ勢力ハ段
々珠江流域ヨリ黃河流域ニ達ス然シ貴國政府ハ之再ニ出
東ニ軍隊ヲ送り我國民革命軍前進ヲ阻撓ス夫レ山東
ハ中國領土ナリ一国内ノ平和秩序ハ無論其ノ國ノ政府カ自
ラ責任ヲ以テテ之ヲ維持シ鄰國ハ代厄ヲ受セザルナリ本月三日貴
國駐濟ノ軍隊カ居然トシテ大砲機關銃ヲ使テ當地民及
革命軍ヲ余々ノ射殺シ又版圖濟駐濟會及外交諸
官吏十餘名ヲ逮捕シ耳ヲ切リ目ヲ括ユル後之ヲ斃殺シ

B 1.1.1.0-15

744

其惨忍慘酷ハ國際公法ヲ蹂躪スルノハナラス又正義ノ道ヲ害
 シタル所ナリ恐ラリ此ノ舉貴國軍閥内閣ノ苦肉計ニシテ貴國
 青年ノ関心ヲ引キテ我ノ國ノ入ルニ皆孫中山先生ノ忠實ナル
 信徒ナリ孫先生ノ三民主義ハ我ニ細大同博愛思想ノ結
 晶ナリ故ニ我等ハ吾ノ重大ナル耻辱ヲ受ケルニモ拘ラス尚又貴國
 民衆ヲ敵視スルニモアラス深ク貴國ノ青年ト提携シ相互ニ
 カシテ東亞文化ヲ復興シ大同博愛精神ノ實現スルコトヲ
 願フ故ニ我ニ提議ス我兩國青年ノ大同運動ノ基礎ヲ作
 リシニ大ニ貴國青年モ賛成スル所ナラン
 一 早ク貴國政府ヲ督促シテ駐清軍隊ノ暴行ヲ制止ス
 二 早ク貴國政府ヲ督促シテ駐華各軍隊ヲ撤退ス
 三 早ク貴國政府ヲ督促シテ對華租界ノ不平等條約ヲ放棄ス
 四 早ク貴國ノ軍閥政治ヲ資本政治ヲ打破ス

五 早ク西方カラ磚塔セル帝國主義思想ヲ掃除ス
 中國ノ民衆中興黨務學校全體學生
 中華民國十七年五月七日
 謹啓

S 1.1.1.0-15

746

S 1.1.1.0-15

745

43

別紙寫

母國の青年諸君よ

今や支那の動乱は其の高潮に達し濟南事件は突如として勃發せり虎狼に等しき支那軍隊は國際協約を無視して道義を荒れ在留邦人保護以外に何等意圖なき軍に向つて敵對行動を起し戦闘力なき無辜の男女老少に對し凌辱慘殺を肆かし烙として取ちざる暴虐は神人共に怒り天地相害れざる靈行にして南京漢口事變の吳淞亦た拭ふ暇なき今日再び此の暴行を曾か扇憤の状切に支那現時の擾亂は四億万民衆の福祉を基調とせしもの非らずして一部軍閥者の利慾を満し其虐革命の徳の爲めにせんとするの私用に非らずして何んぞや然りと雖も左邦支那の向上發展を祈願せし我帝國は示来思ふべからざるを

忍み寛容是勢を隱忍自重以て今日に及びり然るに彼等暴虐の徳は左義を破り我國權を蹂躪し國威を失墜せしめんとする、今日に及り我々國力發展の第一線は徳の修羅場化し國家永遠の興隆に期すべく非らず豈黙すべけんや
辭々遠々祖國の現状を見、時思想は混亂し風教は頹廢す憶ふに茲に至れば邦家の前途殊に青年の意氣振はざる真に寒心に堪へざるものあり滿蒙に於ける新文化の建設は邁進しつゝある我滿蒙郷土協會は忠憤の至誠禁ずる能はず敢然として母國同愛の士に赤誠を被歷せんとす我等は祖父の代より遠く故國を離れし未滿の此地を永くの墳墓地と定め身を以て其の難局に當り民族的天啓命の烽火を駿翺として第一線。闘争の事をも期すべからざる母

國青年諸君よ諸君は邪鬼に對する公憤と正義を愛
す。純情は未だ銷磨せず事確信す
希くは昭和新生の機運に乗じ學國一致燃ゆか如き純
志以て興生日本ヲ建設し邁進せん事を

大連市監部通三十三

滿洲郷土協會

S 1.1.1.0-15

749

45

REEL No. A-0036

アジア歴史資料センター